

「ステメ」って何のことか分かりますか？

～「ステメ」で起きているいじめについて～

「今、いじめは『ステメ』で起きている。(略) 来ている大人のほとんどが『ステメ』を知らないなんて驚きました。」

子どものネット問題に詳しい兵庫県立大学の竹内和雄先生によると、これは去年の文部科学省のネットフォーラム内での女子中学生の言葉だそうです。皆さんは、この「ステメ」が何のことかお分かりですか？

LINE いじめ

国内ユーザー数 8,000 万人以上と、今や老若男女問わず、スマホのコミュニケーションツールとして普及している「LINE」。子どもたちのLINE いじめといえば、「グループ」内で悪口を言われたり、自分のメッセージだけ無視されたりするようなものや、自分のいない「グループ」を作られ、そこで陰口を叩かれるなどが典型的なものでした。

しかし、最近ではそのような「証拠」が残りやすい形ではなく、さらに巧妙な方法として用いられているのが前述の「ステメ」です。

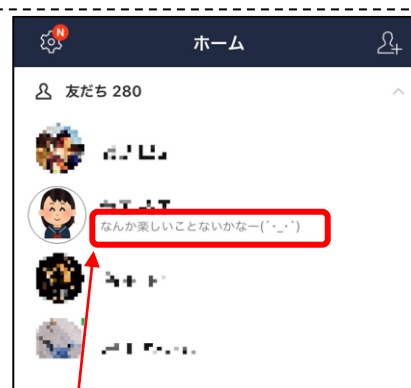
「ステメ」とは？

LINE ではアカウントごとにプロフィール画面（自己紹介画面のようなもの）が作られますが、そのプロフィールに文章を設定できる「ステータスメッセージ」（略して「ステメ」）という機能があります。この場所には 500 文字までの文字入力ができ、その文章は LINE の「友だち」一覧とプロフィール画面に表示されます。（右写真を参照）

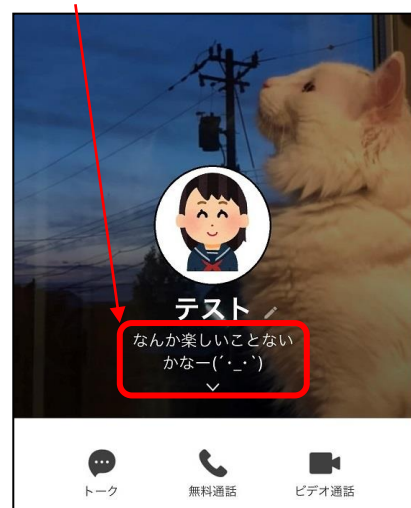
この「ステメ」に、例えば「話しかけてくるな、マジうざい」、「男の前ではいい子ぶっちゃって」、「あいつのせいで怒られた、死ぬばいいのに」などと、人物を明確にしないが、読む人が読めば誰か分かるような悪口を書くいじめが増えているそうです。

竹内先生によると、このような「ステメ」でのいじめは、発覚して学校の先生などから追及されても、「ドラマの感想を書いただけ」「親に対して書いたもの」など言い逃れの準備がされていることも多く、

また、「ステメに韓国語で悪口が書かれていた」ケースや「ずっと普通の文章で、最後の最後に悪口が書いてある」ケースなどもあったそうです。



この場所に「ステメ」が表示されます。



<参考>・竹内和雄「教師や保護者は知らない!? 子どものネット世界最前線」

(明治図書、『道徳教育2月号 SNS 最前線—情報モラルをどう扱うか—』、2020年)

・大津市/大津市教育委員会「インターネット上のいじめに関する対応マニュアル」

<https://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/225/nettomanyuarujirei.pdf>

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745 (直通) メール：kenan@pref.fukui.lg.jp